

PCI でのトラブルシューティングをテーマとして、各グループにチューター担当の医師より提示され、予防から対処法に関してグループ毎にプレゼンテーションを行った。

私が参加したグループでのテーマはステント脱落であった。

最近の世代のステントでは、冠動脈内に持ち込むときに脱落することが皆無であり、かつ病変に持ち込めなくともガイドカテーテルに回収することに関して問題が感じられることがほとんど無いため、ステント脱落そのものは研修医の頃に経験したのみで、実際に自分の手技では経験がなかった。

しかし自分に関係するか予想も付かないことであり、脱落の次第では重篤な合併症を起こし得るため重要なテーマであると考えた。

議論された内容としては、ステント脱落に対する予防と、脱落したステントの回収ということになったが、PCI という手を使う行為に関しては知識と経験が重要であるのか、参加された先生方から様々な手段が示された。

他施設で勤務される先生方との意見の交換は、標準的な手技の確認と共にちょっとした手技・Tips として通常の業務のなかでは発見されない内容も含まれ意義深いものであった。

ただ、初めてお会いする先生方と意見を討論するという事は（海外では当たり前なのだろうか？）経験が無くそれだけでも有意義であった。今後も続けて頂きたい。